



GAOT
Gunma Association of Occupational Therapists

一般社団法人

群馬県作業療法士会ニュース

「からっ風通信」

第149号 2022年7月発行

巻 頭 言

皆で楽しく 繋がルンルン♪

第7回北関東甲信越ブロック学会

第24回群馬県作業療法学会

大会長 山口智晴 (群馬医療福祉大学)



先日、新型コロナウイルス感染症感染症 (COVID-19) をいつまで“新型”と呼ぶのか気になって調べてみました。そもそも当初の論文報告で2019 novel coronavirusと報告されたものの、2003年に流行したSARS (重症急性呼吸器症候群) ウイルスの仲間であることから、国際ウイルス分類委員会はSARS-CoV-2と命名し、この時点で「新型」というニュアンスは消えていたようです。にもかかわらず日本では、なぜか“新型コロナウイルス”と呼び続けており、一度根付いたものを変えにくい文化があることを再認識しています。

作業療法をはじめとした医療・保健・福祉等の分野でも、ここ数年でも様々な知見や技術が発展し、日々刻々と進化を遂げております。そして、少子高齢化がドンドン進むわが国では、誰もが経験をしたことのない社会構造の変化が待っています。どう考えても、現在の医療体制や作業療法の提供体制は維持できませんし、今日の“新型”はすぐに“旧型”となる社会に突入します。5年間も「新型」とは言えないのと同じように、我々の当り前も5年もせずに変わっていく時代であり、時代に適応していく力が必要なのだと思います。現に、養成施設指定規則の一部改正や臨床実習の在り方の変化、ビッグデータやICT技術の活用推進など、たくさんの変化の波が押し寄せています。

そういうと、常に最新の情報に知識をアップデートして、新しいクリエイティブなことをしていかななくてはならないようにも感じますが、本当にそうでしょうか？ 私自身は、自分たちの取り組みを常に振り返り、社会に求められていることとの齟齬がないように適応していくことの方が近道に思っています。そんな想いで、学会テーマ「これからの社会と作業療法

～群馬で考える作業療法のnext stage～」の通り、本学会のワークショップは群馬県作業療法士会としての様々な取り組みを中心に企画させていただきました。

でも本当は、実行委員会の役員会議で提案したメインテーマは「皆で 楽しく 繋がルンルン♪」でした。周囲からの「さすがにやめた方が良い」という真っ当なご指摘で却下になりましたが、諦めきれずにこちらのタイトルとさせていただきます。

難しいことはさておき、様々な変化や制限が多い世の中ですが、県士会活動の本来の目的を振り返り、皆さんで繋がりを深められるそんな学会になれば良いかと願っております。群馬県は、東日本最大級の古墳大国であり、東国文化の中心として栄えた歴史があります。そんな文化の地である群馬県で、北関東信越地域の皆さまと明るい未来に向けたディスカッションができることを楽しみにしております。

最後に重ねてではありますが、本大会の開催に際し、多くの皆様方にご支援ご協力を賜ったことに心から感謝申し上げます、大会成功を切に願ひまして開催のご挨拶とさせていただきます。皆様方のご出席を心よりお待ちしております。



2021年群馬県作業療法学会において、 優秀演題賞として、 群馬パース大学 宮寺寛子氏が選出され 表彰されました。

福利厚生部 小田俊一

優秀演題賞は、群馬県作業療法学会の学術的意義を高め、群馬県作業療法士会員の臨床業務や研究への意欲の向上、促進することを目的として本学会の口述演題から、特に優秀な演題の筆頭演者に授与されます。

宮寺先生から受賞にあたってコメントを頂きましたのでご紹介します。



この度は、過大な評価を頂き大変うれしく光栄に思っています。また、発表の機会を頂きました学会関係者の皆様にお礼申し上げます。

今回の発表は、保育所等訪問支援事業で、作業の視点から保育士への助言を行った事例研究です。まだまだ報告が多くない領域ですが、今回の実践を通して作業療法が求められている領域であると強く感じています。今回の受賞を励みに、これからも日々研鑽を続けたいと思います。この度は本当にありがとうございました。



群馬県作業療法士会 令和3年度第6回理事会議事録

日 時：2022年3月2日(水) 19:30 ～ 21:00

Zoom使用でのリモート会議

参加者：新井、関根、柴田、石森、市川、李、今村、小此木、勝野、高坂、都丸、長谷川、村井、山浦、小林、高橋 16名

I. 各部議事

1. 教育部[報告者：勝野・今村]

【報告事項】

1) ブロック長会議 コロナウイルス流行のため、メールで随時審議を実施。2/2にzoomにてリモート会議実施。

【検討議題】

①現職者共通研修(平日にナイトセミナー形式で実施)

「職業倫理」 講師：長谷川副事務局長

2022/2/16にオンライン研修で開催予定。

②令和4年度 新人症例発表会

2022年7月24日 開催予定

申込者が例年より少ないため、再度各施設へ案内をメール送信する。

※スケジュールは下記を参照

12月中 案内開始

2月 参加申し込み締め切り

3月 査読希望者の抄録締め切り

4月 抄録締め切り

5月 スライド締め切り

2) 研修会報告

①現職者共通研修「職業倫理」

日 時：2022/2/16 19:00～20:30

講 師：長谷川副事務局長

参加者：25名

3) その他

①次年度研修会計画

i) 現職者共通研修(前8テーマ)

ii) 現職者選択研修(身体障害領域)

iii) 基礎研修(2テーマを予定)

iv) 新人症例発表会

次年度は上記研修を各ブロックの部員を中心に運営予定とする。

【審議事項】なし

2. 広報部[報告者：都丸]

【報告事項】

1) 公益事業グループ

①リーフレットの改定作業が完了し今年度内に印刷完了予定。年度末に今年度の振り返り、次年度の広報活動について検討予定。

2) ニュース編集グループ

①1月号の発行を終え、今年度の活動は終了。

②次回は新年度、4月号の発行を予定しており現在準備中。

会員や他機関への紹介として、各ブロック長の紹介を行なう予定になっている。担当される先生方にはご協力をお願い致します。掲載記事等ある方は、3月末日を目途にデータ送付をお願い致します。

3) 広報企画グループ

①リーフレットの校正依頼を実施。校正に関しては、追加費用なく見積り通り依頼可能。校正が届き、最終確認を実施中。

【審議事項】

リーフレットについて、修正版を添付いたします。内容の最終確認をお願い致します。(別紙資料) → 文言についてOT協会を参考に修正。

3. 地域局

【報告事項】

地域局会議 各部から報告 各ブロック支部から報告

1) 各支部の動向

①北中毛ブロック 報告者 小此木

・2月18日(金)に主任者会議を行った。参加は11施設あった。県士会からのお知らせ北中毛ブロックの活動についての報告、コロナ禍における各病院、施設での対応など情報共有した。北中毛ブロックにおける令和4年度からの二次医療圏の担当について承諾を得た。

前橋地区 老年病研究所附属病院

渋川地区 渋川中央病院

沼田地区 内田病院

吾妻地区 群馬リハビリテーション病院

・3月16日(水)に第一回の実行委員会を開催予定。

②西毛ブロック 報告者 山浦

1月28日(金)に主任者会議を実施。西毛ブロックでの活動報告、コロナ禍での各病院施設の対応を情報共有した。

③東毛ブロック 報告者 今村

太田市宝泉地区から介護予防に関する依頼が県士会事務局経由であった。

【審議事項】なし

4. 福祉用具委員会[報告者：石森]

【報告事項】

1) 福祉用具相談支援システムの県士会員登録状況

令和4年2月25日において、福祉用具相談支援システムの登録者数は24件、相談件数は0件。

4月発行のニュースにて、県士会員へ福祉用具相談支援システムお役立ち通信Vol.1(1会員に1枚)を郵送し、登録者数の増加をはかっていく。

2) 福祉用具相談支援システム合同業務連絡会の参加について

令和4年2月6日に福祉用具相談支援システム合同業務連絡会に柴田副会長、石森理事で参加した。今後、福祉用具相談支援システムと生活行為工夫情報のHP上での区別が行えるよう、HPをリニューアル予定とのこと。また、生活行為工夫情報への参画へのアナウンスがあった。

3) 福祉用具委員会を設置したことに関する行政への周知について

群馬県作業療法士会に福祉用具委員会が設置されたことの行政への周知について、以下自治体および関連団体への配布が終了した。市中における新型コロナウイルスの感染状況により積極的にはすすめられていないが、継続して実施予定。周知した自治体や関連団体については福祉用具委員会へ報告していただく旨も併せて引き続きお願いしたい。

※令和4年1月20日までに周知した自治体および関連団体

自治体：前橋市、伊勢崎市、太田市、沼田市、みなかみ町、下仁田町、玉村町、片品村、安中市(予定)、邑楽町(予定)、榛東村(予定)、川場村(予定)、昭和村(予定)

関連団体：群馬県庁健康長寿社会づくり推進課、利根沼田医師会、群馬県看護協会、群馬県教育委員会、日本建築士会連合会群馬支部、群馬県介護支援専門員協会

4) 福祉用具関連の研修依頼への対応について

合同会社 街の介護相談室より、福祉用具についての研修会依頼があった。日程は令和4年3月25日、講師は美原記念病院 石森卓矢を予定。

5)群馬県作業療法士会と群馬県介護支援専門員協会の合同研修について

令和4年2月8日群馬県介護支援専門員協会の理事会にて、福祉用具について群馬県作業療法士会と群馬県介護支援専門員協会との合同研修を開催することが決定された。主催や講師、広報の方法については未定。

【審議事項】

- 1) 関連職種や行政からの講師依頼における講師料の設定について
関連職種や行政から講師を依頼された際の講師料についての基準は、群馬県作業療法士会主催の研修会講師の謝礼を基準とし、依頼先と相談の上決定する形でよいか確認したい。
→ 承認

5. 学術部[報告者:李]

【報告事項】

今年度裁量ポイントと学術部次年度予算案の取りまとめを実施した。

【審議事項】なし

- 1) 学術研究グループ [グループ長:近藤 健]

【報告事項】

- ①今年度の学術研究グループの勉強会は終了した。全国OT学会3名、北関東信越ブロック学会に2名演題を登録する予定。

【審議事項】なし

- 2) 学会支援グループ [グループ長:野口 直人]

【報告事項】

- ①第23回群馬県作業療法学会実行委員から第24回群馬県作業療法学会実行委員への引継ぎ会を実施した。
②第24回群馬県作業療法学会の運営支援を行った。

【審議事項】なし

- 3) 機関誌編集グループ [グループ長:糸井 陽祐]

【報告事項】なし

【審議事項】なし

6. 運転と作業療法特設委員会[委員長:原 大地]

【報告事項】

- 1) 2022年2月1日に「群馬県における自動車運転支援に関するアンケート調査」を実施した。
2) 上記アンケート結果を集計した。

【審議事項】

- 1) 「群馬県における自動車運転支援に関するアンケート調査」の集計結果に関するメール配信を事務局にお願いしたい
→ 承認

7. 養成校連絡協議会

【報告事項】なし

【審議事項】なし

8. 地域作業療法推進部[報告者:山浦]

【報告事項】

- 1) 地域包括ケア推進グループ

- ①1月23日(日)秋田県士会主催「生活を支援する作業療法研修会(応用編)」に高坂、早川、笹谷の3名が参加した。
②1月24日(月)zoom体験会を実施した。
③1月29日(土)「介護予防に資する人材・指導者育成研修会」を実施。zoomを使用したオンライン研修にて行い32名の参加があった。作業療法士、介護支援専門員、栄養士、理学療法士等の職種が参加した。
④2月18日 web会議を開催した。
⑤3月8日 関東・静岡ブロック会議に山口(一)、高坂理事の2名が参加予定である。

2) 認知症支援推進グループ

- ①2月12日(土)「認知症ケア資質向上のための研修②地域で支える認知症ケアの今～多様性を理解する社会づくりを目指して～」をオンラインZoomで実施した。介護福祉士、介護支援専門員、看護師、リハビリ職79名(OT22名)が参加した。
②3月1日(火)第6回グループ会議を実施し、上記研修会の振り返り及び来年度の事業計画について検討する予定。
③令和4年度 群馬県地域医療福祉総合確保基金(総事業費877,000円、内士会負担金220,000円)を群馬県庁地域包括ケア推進室へ申請予定。
3) 精神科領域推進グループ
①令和4年1月31日Web会議実施した。2月5日実施の自殺対策強化事業の打ち合わせを中心に話し合いを行った。
②令和4年2月5日(土)13:00～16:10自殺対策強化事業Online研修会を実施した。参加者は46名でOT、CP、公認心理師の参加が多かった。アンケート結果において、研修内容、運営についても概ね良いとの回答が多かった。
③令和4年2月24日Web会議を実施した。自殺対策強化事業研修会来年度の事業計画、予算案など検討した。
4) 発達支援推進グループ 報告者 勝野
①2月26日(土)19:00 オンラインでの幹部会議にて今年度事業報告および決算(見込み)、次年度事業計画、予算案、部員名簿を作成した。
②3月10日(木)定期勉強会をオンラインで開催予定。内容は今年度の外部専門家派遣事業の報告を行う。

【審議事項】なし

9. 第7回北関東信越ブロック学会・第24回群馬県作業療法学会

【報告事項】

- 1) 運営に向けた検討
①22/03/16に次回検討会議を実施予定
2) スケジュール
①教育講演の講師打診(JAOT会長)、各士会への日程の周知案内⇒2月中に実施済み
②実行委員の招集(3～4月頃)
③GAOT内各部局への正式な協力要請(4月)

【審議事項】

- 1) 参加者のカウント方法について
前回の理事会で、実行委員の参加費無料が決定した。一方、参加者のカウント方法が今までは、実行委員も参加費を頂いて参加者としてカウントをしていた。標記の今後の取り扱い方法をご検討いただきたい。つまり
旧:実行委員は有料(学会により負担額異なる)で、参加者としてカウント
新:実行委員は無料での参加として

- A:参加者としてカウント
B:参加者として分けてカウント
(参加者としてはカウントするか内訳で明記)
C:参加者としてカウントしない
→ 多数決にてBとして決定し承認。

10. 福利厚生部[報告者:市川]

【報告事項】

- 1) 優秀学生賞
今年度より電子媒体にて、各養成校とやりとりをしている。昨年度同様4校に対して推薦調査を送付。事務局に連絡し、表彰状を各養成校に送付予定。

2) 会員同士とOTを目指す人との交流企画

交流企画に向けての具体的な動きを部内で検討中。
広報部・養成校連絡協議会にも協力を依頼していきたい。
実施後はアンケート等を集計し、要望を集めていきたいと考える。

3) 表彰(優秀演題賞)

次回から風通信に掲載予定。学術奨励賞も進めていく。

【審議事項】

- 1) 会計より コロナ禍で部員と会うことができず、2019年度分から行動交通費や支払いの立て替え金などを、会計が手元に持ち続けている。今後、本人が良ければpaypayや銀行振り込みなど手渡し以外の手段を用いても良いか。※手数料に関しては各部員が受け取ったお金からの捻出を想定している
→ 前回、理事会にて承認済み。

11.事務局[報告者:長谷川]

【報告事項】

1) Peatixの導入に関して

1月の研修会からPeatixの導入を実施、会費の受け取りまでの作業がすべて完了。

会費の受け取りについて、登録口座名義人名に誤りがあったことから遅延が生じたが既に問題解消済み。

Peatixの継続使用に関してご意見などありますでしょうか

2) HP運用規約について 別紙で説明

⇒ ご意見がある場合は、次回の理事会で審議

もしご意見などなければ規約に関する審議いただきたく存じます
(確認いただきたいこと)第6条の掲載範囲について特にご確認ください

3) 異動手続きのオンライン化について

⇒ HPシステムのエラーなどの対応しておりました関係で現在手続き中です。もうしばらくお待ちください。

HPシステムのエラーはどうやら自動アップデートに伴うものらしく、現在は通常稼働しております。

4) 部員の行動交通費、活動手当(日当)に関して

①他団体の情報

○アルバイト報酬をしているのが確認できたのは茨城県士会

○1日または半日での日当を設定しているが多い

②群馬県作業療法士会 交通費等規約

i) 交通費: 1回400円 距離10km超えた場合キロ10円加算
規約にはないが、対面での会議を行った場合、会議費として、参加者の弁当代+お茶代 は拠出している(一人¥700~¥800程度)

③確認事項

○オンラインでの部会の場合の交通費の拠出はない?

○オンラインでの部会の場合の参加者への会議費の支払いは?

④次回理事会にて オンラインでの部会の開催における会議参加者への手当について協議したい。

お願い 各部署でのオンラインでの部会の会議費の取り決めなどありましたら、長谷川までご連絡いただけないでしょうか?

取り決めがない場合は、「なし」とご返答いただきたく存じます。次回の理事会で一覧にしたものを提出します。

【審議事項】

1) Peatixの導入に関して 継続使用に関する可否について

→ 継続使用していく。

2) GAOT第12回総会開催について

日程は6月を予定しているが6/19(日)でよいのか? 場所は県公社総合ビル? 2年間通常の総会はできておらず委任状及び議決権行使書での総会となっていた。来年度も同様の方法で良いのか?

→ 昨年同様の方法で6/19(日)県公社総合ビルにて行う。



群馬県作業療法士会 令和4年度第1回理事会議事録

日 時：2022年5月25日(水) 19:00 ～ 20:30

Zoom使用でのリモート会議

参加者：新井、関根、山口、柴田、石森、市川、李、今村、小此木、勝野、高坂、都丸、長谷川、村井、山浦、唐澤、小林、高橋 18名

I. 各部議事

1. 教育部[報告者：勝野]

【報告事項】

1) ブロック長会議 コロナウイルス流行のため、メールで随時審議を実施。4/26、5/17にzoomにてリモート会議実施。

【検討議題】

①現職者共通研修・選択研修、基礎研修

各ブロックで担当研修を決定。講師選定、日程調整の段階に進んでいる。

現職者共通研修：北中毛・西毛ブロックが担当

現職者選択研修：東毛ブロックが担当

基礎研修：今井、水上G長が1コマずつ担当

②令和4年度 新人症例発表会

2022年7月24日 開催予定 49名の参加申し込みあり。

※スケジュールは下記を参照

5月 スライド締め切り

6月 冊子作成、事例検討の申し込み開始

7月 体験会の開催を予定

③Peatixについて

研修会運営で使用するので、オーナーを長谷川副事務局長から教育部に移行するか検討。教育部がオーナーになる場合、教育部代表のメールアドレスが必要になる

2) 研修会報告※今年度研修はまだ未開催

3) その他 基礎研修について

発達支援グループ主催の基礎研修企画の案が出ている。

→基礎研修のポイント付与の条件を満たした研修会の参加者名簿を生涯教育グループに送っていただければ、協会への申請は教育部が実施する。

【審議事項】

1) 教育部のgoogleアカウント作成について

Peatixのメールアドレス登録などで教育部代表メールアドレスを作成したい。

以前、研修会日程共有に使用していた「群馬県作業療法士会研修日程：got.kensyu@gmail.com」

のアカウントがどこの部も使用していないようなので、教育部で使用するもよろしいでしょうか？

→ 承認

2. 広報部[報告者：都丸]

【報告事項】

1) 公益事業グループ

①5月9日に広報部合同部会を開催し今年度の活動について検討。高校生一日体験の開催についてはWEBを導入する方向で検討。近日中に開催予定である理事・グループ長会議にて開催方法を検討・決定する方向。

2) ニュース編集グループ

① 現在は7月号の発行に向けて準備を行っている。掲載する原稿は7月初旬までにデータの送付をお願いします。

② 昨年度もコロナ渦の継続により各方面でイベント等が中止となり広報内容は苦慮したが、今年度は徐々に緩和されつつある

ので適宜原稿依頼等行っていきたい。今年度もご協力をお願い致します。

3) 広報企画グループ

①公益事業Gと合同で、今年度の活動も実施予定。必要な情報収集等を実施していく予定。

②学生へのLINEなどコラボしていく。

【審議事項】なし

3. 福祉用具委員会[報告者：石森]

【報告事項】

1) 福祉用具相談支援システムの県士会員登録状況

令和4年5月16日において、福祉用具相談支援システムの登録者数は25件、相談件数は0件。

5月発刊のニュースにて、県士会員へ福祉用具相談支援システムお役立ち通信Vol.1(1会員につき1枚)を郵送し、登録者数の増加をはかった。

2) 福祉用具委員会を設置したことに関する行政への周知について

群馬県作業療法士会に福祉用具委員会が設置されたことの行政への周知について、以下自治体および関連団体への配布が終了した。市中における新型コロナウイルスの感染状況により積極的にはすすめられていないが、継続して実施予定。周知した自治体や関連団体については福祉用具委員会へ報告していただく旨も併せて引き続きお願いしたい。

※令和4年1月20日までに周知した自治体および関連団体

自治体：前橋市、桐生市、伊勢崎市、太田市、沼田市、安中市、みどり市、下仁田町、片品村、みなかみ町、玉村町、大泉町、邑楽町、川場村、嬬恋村、草津町、高山村、昭和村、榛東村(予定)

関連団体：群馬県庁健康長寿社会づくり推進課、利根沼田医師会、群馬県看護協会、群馬県教育委員会、日本建築士会連合会群馬支部、群馬県介護支援専門員協会

3) 福祉用具関連の研修会開催について

合同会社 街の介護相談室主催の研修会を令和4年3月25日実施した。講師は美原記念病院 石森卓矢。

4) 群馬県作業療法士会と群馬県介護支援専門員協会の合同研修について

令和4年2月8日群馬県介護支援専門員協会の理事会にて、福祉用具について群馬県作業療法士会と群馬県介護支援専門員協会との合同研修を開催することが決定された。主催や講師、広報の方法については未定。

【審議事項】なし

4. 地域局

【報告事項】

1) 北中毛ブロック支部 報告者 小此木

①群馬県作業療法学会について

役員会議を実施した。

ワークショップや講師の選定、公文書等の書類送付の準備を進めている。

シンポジウムの講師等に関して検討中

②行政への挨拶回り

川場村へ5月20日に訪問した。昭和村へ本日5月25日訪問した。

2) 東毛ブロック支部 [報告者：今村]

① 行政への挨拶回り

大泉町包括に高坂理事と同行にて実施。

桐生市包括 川内以外(5か所)行った。

みどり市包括3事業所すべて行った。

②講師派遣事業

・宝泉地区 介護予防教室

7月8日 講師:訪看グラチア 飯野雄太OT

7月25日 講師:孫の手 今村雄二OT

・伊勢崎市東町 あずまミーティング 10月中旬

テーマ:独居高齢者への対応(仮)

講師:訪看グラチア 中島崇暁OT

3) 西毛ブロック支部 報告者 山浦

① コラム:私たちの医療介護連携

高崎市医療介護連携相談センター南大類のHPで連載しているコラムに群馬県作業療法士会として「作業療法士としての意思決定支援～訪問看護において～」を健大高崎訪看ステーションの小林OTに執筆していただき掲載中。

【審議事項】なし

5. 地域作業療法推進部[報告者:高坂]

【報告事項】

1) 地域包括ケア推進グループ

①令和4年4月8日付で令和3年度群馬県地域医療介護総合確保基金事業補助金の事業実績報告書等の書類を事務局へ提出した。

②令和4年4月14日に地域包括ケア推進グループの会議を開催。今年度の活動計画について確認・協議を行った。

③令和4年5月6日にワンポイントアドバイスの内容検討会を高坂理事、山浦理事、真塩部長、青木副部長、山口G長、各グループ長の参加のもと、teamsによるビデオ会議にて実施。次回は7月8日に開催予定である。

④日本作業療法士協会地域包括ケア推進委員会主催のweb研修が6月2日に開催され、高坂理事、山浦理事、真塩部長、山口G長が参加予定である。

2) 認知症支援推進グループ

①令和4年度より2名の部員が入部となる。

②令和4年4月8日付で、令和3年度群馬県地域医療介護総合確保基金事業(介護分)の事業実績報告書等の資料を県の介護高齢課へ提出した。

③令和4年4月25日付で、令和4年度群馬県地域医療介護総合確保基金事業(介護分)の交付申請書類を県の介護高齢課に提出した。現在交付決定を待っている状況である。

④令和4年4月28日にTeamsビデオ会議にて、第1回グループ会議を開催した。今年度の年間スケジュールや事業等について確認した。

3) 精神科領域推進グループ

①5/13(金) 19:30～zoomにて第1回会議を実施。各事業の担当決定や今後の予定確認を行った。

11/26・27に開催される北関東甲信越ブロック学会、群馬県作業療法学会でのワークショップの講師やテーマについて検討を行った。

② R4年度群馬県自殺対策強化事業について、予算96,000円で実施予定である。

4) 発達支援推進グループ

①前年度部員の4名が退役し、今年度より新規部員5名が加入した。

②群馬県特別支援学校機能強化事業におけるエリア担当が今年度より北部:山内栄利奈氏、中部:十枝はるか氏、東部:河合健人氏、西部:小澤恵氏に変更となった。統括は引き続き六本木G長が担当する。オンラインに加えて条件付きで対面式での対応も行っていく。実施条件については理学療法士会の対応と揃える。

③4月23日(土)第1回部員全体会議をオンラインで開催した。

④5月6日(金) 地域作業療法推進部ワンポイントアドバイス内容検討会議に勝野理事、六本木G長が出席した。

⑤5月12日(木) 研修会企画委員会を開催した。

⑥第1回定期勉強会を6月1日(水) 19:00～20:30オンラインで開催予定。内容は群馬県特別支援学校機能強化事業についての説明。講師は北爪浩美氏、六本木温子G長である。今後、定期勉強会を基礎研修会としていく。

⑦外部講師研修会を開催予定。日時:令和4年9月3日(土) 午後の2時間(時間未定)、講師:酒井 康年氏(うめだ・あけぼの学園/日本作業療法士協会常務理事)、会場:群馬パース大学、開催方法:対面式とオンラインのハイブリット形式で検討。研修テーマ:未定。参加費:県士会員・学生は無料。県外OTのみ参加費を徴収する予定。参加申し込み管理などについて長谷川副事務局長に今後ご相談させていただきたい。

5) 全体として

5月6日地域作業療法推進部役職者オンライン会議を開催し、新版ワンポイントアドバイスに関する連絡調整を行った。

【審議事項】

1) 精神科領域推進グループ

①ソーシャルバスケットボール・キャラバン2022-2023の開催連絡あり。理事会にて後援承認をお願いしたい。

→ 承認

②群馬県精神保健福祉協会へ団体会員としての加入について、承認をお願いしたい。

→ 承認

6. 養成校連絡協議会資料[報告者:高坂]

【報告事項】

1) 令和4年度の臨床実習指導者講習会は下記日程で、年2回のオンライン開催を予定している(カッコ内は主担当校)。

令和4年9月3～4日(前橋医療福祉専門学校)

令和5年1月28～29日(群馬医療福祉大学)

2) 学生会員の募集を開始した。昨年度から会員管理や情報発信方法について以下の通り変更した。

5月20日現在、会員数は64名である。

〈変更点〉

・会員管理・情報発信:事務局→養成校連絡協議会

・会員申込方法:県士会専用フォーム→Googleform(事務局長共有)

・情報発信方法:E-mail→LINE公式アカウント・E-mail、いずれか

・入退会方法:毎年の入会手続きが必要→卒業年度まで自動更新、随時退会は可

【審議事項】

1) 学生会員が研修会に参加しやすいよう、群馬県作業療法士会HPの研修案内の表示項目について「学生参加の可否」について、明示していただきたい。

例)【群馬県作業療法士会 教育部主催 事例検討】

会期:2022年07月24日(日)9:30～

開催方法:オンライン開催

お申込み:peatixより申し込み(お申込みはこちら)

申込み締め切り:2022年6月24日

詳細:詳細はこちら

学生会員参加:○

→ 承認

2) 群馬県作業療法士会HP上に、「イベントページ」を作成していただきたい。(作業療法フェスタやこころのふれあいバザー展等のイベント表示用)

→ 承認

3) 学生が参加可能な研修会や学会等の場合、県士会HPやFacebookに掲載依頼を出す際に養成校連絡協議会

(kousaka@shoken-gakuen.ac.jp) にも併せてご連絡いただきたい。
→ 承認

7. 第7回北関東信越ブロック学会・第24回群馬県作業療法学会【報告者：山口】

【報告事項】

1) 運営に向けた準備

- ① 役員会議を6回、実行委員会を2回開催した。
各セッションの役割分担と各役割分担の主担当者の決定、スケジュール等について確認する。
- ② 進行：概ね予定通り。公文書発行を5月中めどに実施していく。
- ③ 学会運営に際して利用する書式や公文書など、在り方の見直しや開催ごとに差異が生じない工夫なども学会支援Gと併せて検討しながら準備を進める。

【審議事項】なし

8. POS連絡協議会【報告者：山口】

【報告事項】

- 1) 令和3年度 オンライン集いの場体験実証事業報告会
群馬県地域リハビリテーション支援センターとして協力してきた事業に関する報告会が2022年5月24日(火)10時～zoomによるWEB会議で実施される予定

【審議事項】なし

9. 学術部【報告者：李】

1) 学術研究グループ

【報告事項】

- ① OT学会(京都)に3名の会員が採択された。
- ② 群馬県作業療法学会、北関東信越ブロック学会の一般演題の募集要項を作成した。

【審議事項】なし

2) 学会支援グループ

【報告事項】

- ① 第7回北関東信越ブロック学会。第24回群馬県作業療法学会の運営支援(HP作成、予算案作成)を行った。

【審議事項】なし

3) 機関誌編集グループ

【報告事項】

- ① 機関誌「ぐんま作業療法研究vol.25 2022」の論文募集を行った。
- 3月末にてメ切とし、5編投稿あり、現在査読業務中。

【審議事項】なし

10. 運転と作業療法特設委員会【報告者：李】

【報告事項】

- 1) 2022年4月23日に「ぐんま自動車運転リハビリテーション研究会」と合同で世話人会を実施した。
- 2) 2022年6月18日に自動車運転支援を行っている医療機関とzoomで情報交換会を開催する。

【審議事項】なし

11. 事務局【報告者：長谷川】

【報告事項】

1) 新入会申し込みについて

- ① paypal アカウント取得済み
- ② 新入会申し込みフォーム作成は済んでいる。
HPへの掲載は未実施。確認待ち

【審議事項】

- 1) 会議参加等の報酬および費用に関する規定について(案)
→ メールでの継続審議

区分	時間	振込金額
① 会議出席	2時間未満	¥800
② 研修会	2時間以上4時間未満	¥1,000
③ イベント運営等	4時間以上	¥2,000
備考 1. 各部会の1回あたりの会議時間は2時間以内とする 2. 対面およびオンラインいずれの場合も含む 3. 交通費・旅費は別途支給する 4. 弁当の支給は廃止する 5. お茶等の配布も廃止する 6. 振込金額は源泉徴収税控除後の金額とする 7. 群馬県作業療法学会については学会の規定による		

例) 部会の人件費

出席者 10人 年6回の開催の場合

¥890(税込み) × 10人 × 6回 = ¥53,400

※ 会議の頻度、時間、出席者数など各部会での検討が必要かもしれません。

※ 地域作業療法推進部等で、県の基金に基づいて行われる研修会等の費用について、この規定に従うと不利益が出る場合は、適用しない方が良いのかもしれませんが。

※ 「報酬」とした場合、所属施設の規定で受け取りができないスタッフもいると思います。

【報告事項】報告者 高橋

1) 総会議案書の送付について

5月22日会計監査終了。現在、配送準備中。今週中に配送予定。

大島病院

大島病院は、伊勢崎の中心街に近い場所に位置しており、伊勢崎駅やハローワーク等も近く、近隣の病院や施設とも連携しています。精神科にしてはとても便利な開けた場所にありますが、歴史のある古い建物です(とても年代を感じます…)。「親切で信頼される病院」を理念に、地域に根付いた医療を目指しています。当院は、内科・胃腸科・呼吸器科・心療内科・精神科の診療を行っており、精神科病棟148床、療養病棟(医療型)40床の中規模な病院です。作業療法士(以下OTR)は、院内の作業療法課に4名、デイケア・訪問課に1名で、グループホーム業務も兼務しています。



精神科病棟では開放病棟がないので、OTではなるべく閉鎖的にならず外からの風を入れられるよう、散歩や運動、農園等の外での活動を行ったり、外出プログラムを取り入れたり、ピアサポートも積極的に導入してきました。しかし、現在コロナ禍で活動に制限がかかり、感染対策のために実施できない内容が増え、外出や外部の人の出入りも中止となり、閉鎖的な環境で思うように退院支援も進まなくなりました。OTとしては心苦しい思いですが、なんとか患者様の心のサポートが出来ればと、日々奮闘しております。高齢化やコロナ禍の運動不足もあり、空き時間には歩行訓練や運動等も行っています。デイケアでは、病院完結型ではなく地域に開かれた場を目指し、今までメンバーの地域イベントへの参加やピアサポーターの取得等実施し、スタッフも積極的に地域サロンや地域ケア会議等にも参加してきました。コロナ禍になっても、学校への啓蒙活動は工夫しながら何とか継続することができ、メンバーが学校に行ったりリカバリーストーリーを発表したり学生との交流会を行いました。訪問では、OTRも訪問スタッフの一員として退院前訪問から関わり、他機関・行政とも連携を取りながら包括的な支援を行っています。当院では、院内のOTRが退院後の電話相談やグループホームでのフォローをしたり、デイケア所属のOTRが訪問・グループホームに入ることによって生活の場と日中活動の場両方に介入することができ、全体的な支援ができることが強みとなっています。まだまだコロナの影響で、悩みながらの支援が続くと思いますが、一人ひとりの患者様に寄り添い、丁寧な支援ができるよう頑張っていきたいと思っています！



患者様の作品です！

投稿大募集!!



ニュースでは、日頃感じている些細な疑問や
日常業務で工夫している点、こんな研修会に
参加した…などなど、皆様からの投稿を
募集しております。
どんなことでも構いませんので、
お気軽にお寄せ下さい。お待ちしております!!

アドレス : koha.yuu@yahoo.ne.jp
広報部・ニュース編集グループ
反町拓海



県士会ホームページアドレス
<http://www.gunma-ot.org/>

編集後記

「6月史上最高の…」「危険な…」と連日耳にする
くらい暑い日が続いておりますが、会員の皆さまは
いかがお過ごしでしょうか?ほとんどの先生は屋内
が基本と言えど、一日動き回っていることが多いと
思います。水分はしっかり補給しながら体調に留意
していきたいですね。

今号では今年度の群馬県作業療法学会の学会
長である山口智晴先生に巻頭言をご執筆頂きまし
た。コロナ禍が落ち着きを見せている状況での開
催であったり、今年度は北関東信越ブロック学会と
同時開催となっているので盛り上がる学会になる
のではないのでしょうか。「繋がらん♪」を大切に
皆さんで盛り上げていきましょう!

S

訪問看護ステーション花あかりで働くPT・OTを大募集!!
職員の産休に伴いリハビリスタッフを増員!女性セラピストを積極採用!
訪問看護ステーション花あかりでは、看護とリハビリが連携しながらきめ細
やかな在宅支援を行っています。生活に必要な医療保険・介護保険のリハビ
リに加え、自費リハビリや保険外のサービスまで、かゆい所に手が届くサービ
ス事業所を目指しています。現在、看護師8名、PT・OT6名の14名体制(男性
3名、女性11名)で桐生市を中心に幅広く訪問看護を展開しています。
花あかりでは子育て中の女性職員、女性セラピストも活躍中です!
経験年数の浅い方も大歓迎!リスク管理、症状のとらえ方、フィジカルアセスメン
トまで経験豊富なスタッフが優しく教えます!アットホームな雰囲気看護とリ
ハビリも和気あいあいです。見学・面接は随時行っていますので、お気軽にお電
話ください。訪問に興味があるセラピストの皆さん、是非一緒に働きませんか?
◎募 集 理学療法士、作業療法士 ◎勤務形態 正社員(非常勤は要相談)
◎勤務時間 8:30~17:30、週休2日、年末年始
◎給 与 年俸380~450万円(経験加算あり、各種手当別途、
各種認定資格保持者優遇します)
〒376-0121 群馬県桐生市新里町新川715-11 ファミリアイマイエ号室
TEL:080-3003-0724 採用担当:村井まで

「ニュース求人を見ました」
とご連絡ください



群馬県作業療法士会ニュース

発 行 者 || 新井 健五

発 行 所 || 群馬県作業療法士会事務局 〒371-0024 前橋市紅雲町1丁目7番12号 TEL・FAX 027-224-4649

編集代表 || 反町 拓海 編集委員 || 関 仁紀、下田 幸、辻 千鶴子、大脇 宗雅 印刷 || 星野印刷株式会社